

ご提案：生駒芳子

- ・ 東京の何を表現し、強調すべきか

「TOKYO PLANET構想=つながる東京」（過去、未来、伝統、食、文化、科学、世界など、さまざまなジャンルとつながるパワーのある東京、地球上で唯一無二のスーパー・カルチャー・シティとしての存在感を表現）

「伝統と革新」（江戸の精神や文化を最先端のクリエイティビティで表現）

「オフグリットな未来都市」（新たなインフラの中で自由に生きる未来都市の姿を東京から発信）


- ・ デザインのイメージをどうするか：色（基本カラー）、図形や文字の使い方 等

シックにシブく決めるか：EDO&TOKYO、江戸/東京

江戸風-四十八茶百鼠、江戸小紋、筆文字

カラフルに鮮明に決めるか：「カラフル」OR「黒と赤」



 日の丸をイメージした白地+赤で、「&」を強調する

- ・ 統一感の確保（ロゴ、キャッチフレーズ、ユニフォームの統一性）

EMOTION AND SOLUTION CITY, TOKYO

東京には「本物と未来」がある！

ユニフォームをすべて変えるのは無駄なので――ユニフォームの統一をするには、すでにあるユニフォームを藍染めして藍色に統一するとか？あるいは、日の丸をイメージした真っ赤なスカーフを配って、赤のスカーフを目印にするとか？ IoT, ウェアラブルとリンクさせて、アプリ開発し、インターネットやSNSとつなげて、常時発信するツールとするなど？

- ・ ロゴ等の海外での発信方法、&TOKYO の活用方法

「&TOKYO」をタイトルにつけたアートイベント「&TOKYO ART FESTIVAL（&TOKYO アート祭り）」的な催しを、アート、建築、デザイン、音楽、映画すべての文化領域の最先端を紹介して、美術館やギャラリーを基軸にして東京全域で開催し、国内外に発信し、日本のカルチャーのパワーを集積させて、海外からのメディア、観光客を呼び込む。民間で開催する優良な文化イベントにも「&TOKYO」を冠し、東京全体で「スーパー・カルチャー・シティ＝TOKYO PLANET」としての存在感を伴って、さまざまな角度から発信を試みる。